

月刊



平成31年1月1日発行 通巻276号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/公益社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館3F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

公益社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

湖国が滋る・水と緑の街づくり

CONTENTS

- ・年頭所感…………… 2
- ・女性委員会…………… 3
DoシリーズNo.79
『蘆花浅水荘でワークショップ』
～ミニスツールの座面を編む～
- ・情報広報委員会…………… 4
2019年度フォトコンテスト作品募集
- ・ヘリテージマネージャー支援委員会…………… 5
平成30年度滋賀県HM育成講座
報告会
- ・まちづくり委員会
第10回「未来の家」「未来のまち」
子ども立体作品展開催のお知らせ
- ・青年委員会…………… 6
第61回建築士会
全国大会さいたま大会 報告
- ・青年委員会
次世代育成事業 紙の力
～君も未来の建築士～事業報告
- ・まちづくり委員会…………… 7
滋賀けんせつみらいフェスタ
- ・総務企画委員会
第37回 近畿建築祭 滋賀大会 報告
- ・ポリテクカレッジからのお知らせ…………… 8
- ・地区別会員数
- ・1月の暦
- ・滋賀の酒蔵・伝統と文化を訪ねて
第31回 望月酒造 (甲賀市甲賀町)



望月酒造 全景

望月酒造は甲賀市甲賀町(旧甲賀町)にあり、草津線油日駅から南へ徒歩15分、山林に囲まれた毛枚という小さな集落の中にある寛永年間(1791～1801年)創業の酒蔵である。戦中の休業から復活した後50年以上の長きに渡り望月酒造の酒造りを担ってきた元杜氏が引退され、その伝統は現在杜氏を務める蔵元で長男、28歳の大輝さんに引き継がれている。現在は蔵元と親子で力を合わせ家族で行う酒造りは県内最小クラスである。県内では珍しく大自然の中に佇む昔ながらの酒蔵で丁寧に手造りされており、中でも敷地内にある自井戸は酒造りを支えている。

写真は明治築と思われる日本酒の仕込みを行う木造蔵3棟である。手前から西藏、中蔵、東蔵と呼ばれている。西藏には仕込みタンクと瓶詰め場、中蔵では吟醸酒用の小タンクと釜場、東蔵には麴室と酒母室がある。仕込みは普通酒用の大きめのタンクと、吟醸酒を醸す小さいタンクに分け高級酒は特に丁寧な造りが行われている。また釜場とは米を蒸す甑(こしき)の置かれた場所を指し、ここでお米の蒸しと放冷が行われている。仕込み蔵には冬期に冷気を取り込む窓が設けられることが多く、望月酒造では北面にいくつもの窓が設けられ、反対に西面には窓がない。

飲み飽きしない優しい口当たりの代表銘柄「寿々兜(ずずかぶと)」は、鈴鹿山脈の伏流水と地元産米の「ずずか」と、甲賀の「かぶと」を掛け合わせて十数年前に考案。名杜氏の引退後、親子の飽くなき努力が生み出す酒は今後の酒質の向上が最も楽しみである。

(前谷吉伸)

年 頭 所 感



公益社団法人 滋賀県建築士会

会長 山本 勝義

ある調査機関の統計によると、社会をいくつかの層に分けた時、「中の下」、「中の中」、「中の上」、に属すると、中産階級の意識を持つ人が、この三十年間変わらず90%以上を占めています。

厳しい環境下でもとりあえず衣食住が確保でき、自分の個性やポリシーに沿って人生を有意義に楽しく暮らしていける自由があれば、当面は何とかやっていけるでしょう。しかし国民の多くは、未知の未来に対して不安を抱えており、国や自分の属する組織のリーダーがこれを解消してくれることを期待しているはずです。

「今日のことは自分たちでなんとする、だから未来のことはあなたに頼みましたよ」

これが国民と政府の関係であり、従業員と経営者の関係と言えるかもしれません。

ゆえにリーダーはその自覚をもとに、器を磨いてゆかなければなりません。

「外^{がい}寛^{かん}内^{ない}明^{めい}」という言葉があります。

他人には寛大に接し、自分に対しては明晰に、厳しく省みるという姿勢です。

楽観主義者は寛大なリーダーに成ることが多く、一方、部下に対しては、放縱な結果を生むことがあります。

悲観主義者は明晰なリーダーとして現状を的確に把握する能力を発揮する一方、部下の動静を厳しく管理し過ぎると息苦しさを与え、組織の活力を奪ってしまうことがあります。

帝王学^{そうめいしんげんこうろく}の書『宗名臣言行録』には、

「明^{めい}なれども察^{さつ}に及ばず 寛^{かん}なれども縦^{しょう}に至らず」

と説かれています。

物事をすっかり分かっていても、細かいところをあまりとやかく言い過ぎてはいけません。

また、寛大であっても締めるところは締め、放縱に任せではならないという戒めです。

明にして寛、まさにリーダーが刮目すべき教訓といえます。

日本の未来のためには、リーダーばかりでなく、国民一人ひとりも自覚を高めてゆかなければなりません。

これまでの日本人は集団の秩序を重んじることで成長を実現してきました。

しかし、これからは、秩序を守りつつも多様性を認め、主体的に行動する人が求められてる時代となるでしょう。

実際、そういう社員が連携し、切磋琢磨している企業は、この厳しい時代においても着実に収益を上げています。

時代は、働き方や、IT化の推進など、様々な分野において、新しい局面に差し掛かっています。

私たちは現状を甘く認識し過ぎたり、あるいは細部にとられ過ぎて今後の大局を見誤らないよう留意しなければなりません。

「明なれども察に及ばず 寛なれども縦に至らず」

この訓戒をもとに的確な判断を下してゆけば、道は必ず開けてゆくと、年頭に、改めて、自戒し、心に刻みました。

新年を迎え、皆様には穏やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。

去年は、地震、台風、大雨等、天災による被害が多数発生しました。

改めて、被災された方々には、心よりお見舞い申し上げ、一日も早い復興を祈念致します。

また、昨年も、偽装や不適切な検査等が後をたたず、私たちの業界でも、「耐震用ダンパー」の不適當な検査内容が発覚しました。

過去の免震ゴムの事件と共に、耐震工法や免震工法の信頼は、地に落ちた感があり、大変残念でなりません。

人は何をもって社会に貢献して行くのか、いま一度、足元をみつめ直す機会にしなければと考えます。

そして、政治や大企業においても、あい変わらず「ガバナンス」の問題がいろいろと取りざたされていました。

悲観主義者であれ、楽観主義者であれ、互いに補いあい、この日本の国の為、企業の為、家族の為、力を合わせていかなければなりません。

2020年、東京にて「オリ・パラリンピック」、

2024年滋賀県にて「第79回国民体育(スポーツ)大会」、

2025年大阪にて「国際博覧会(万博)」が開催されます。

すばらしい夢や希望に向かって、健康で、楽しく豊かな人生をおくって行きたいものであります。

去年は、「近畿建築祭」等で、役員の皆様には、大変お世話になりました。

ご参加頂いた近畿各地の皆様より、感謝とお礼のお言葉を多く賜りました。

大変うれしかぎりです。

会長として、皆様に心より、感謝致しております。

今年も、滋賀県建築士会に変わらぬご支援、ご協力をお願いし、また、会員の皆様のご多幸、ご活躍を心より祈念し、年明のご挨拶と致します。

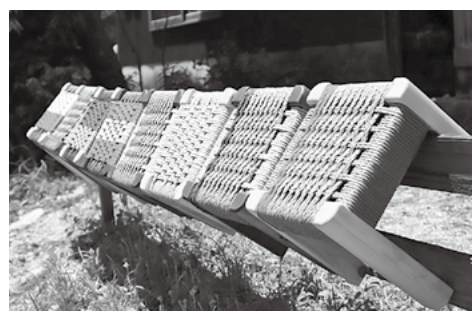
女性委員会
Doシリーズ
No.79

『蘆花浅水荘でワークショップ』
～ミニツールの座面を編む～



今回は、家具職人・スーパファニチャー代表 雄倉高秋氏を講師に迎えミニツールの座面をペーパーコード（紙紐）で編みオリジナルの家具を作るワークショップを行います。街にあふれる大量生産の家具ではなく、オリジナルの家具を作成してみませんか。

またワークショップ会場は、予約なしでは見学できない日本画家の大家、山元春挙^{ろ か せんすい そう}の別荘で、重要文化財『蘆花浅水荘』となります。大正時代の作庭の自然の中に自己の芸術を表したという庭園は天津市指定の名勝です。ワークショップの後にこちらの見学会も行います。



ミニツール



開催日：平成31年2月9日(土) 13時～16時

開催場所：蘆花浅水荘（記念寺）

大津市中庄1丁目19番地23号

- ・京阪電車石山坂本線瓦ヶ浜徒歩5分
- ・近隣に有料駐車場有り

定員：20名

参加費：会員¥5,000、会員外¥6,500

CPD単位：3単位予定

持ち物：軍手、ハサミ、ミニツール（22cm×22cm×22cm）
のいる袋、膝かけなどがあると便利

タイムスケジュール：

12時45分 受付

13時～15時 ワークショップ『ミニツールの座面を編む』

15時～16時 蘆花浅水荘（記念寺）見学 案内説明あり

16時15分 解散

申込締切日：平成31年1月31日(木)



会場：蘆花浅水荘 書院から望む庭園

講師プロフィール：雄倉高秋 氏



1969年兵庫県生まれ。大阪で10年間の設計事務所勤務を経て、2002年に家具職人の道へ。飛騨高山で家具作りを学び、スーパファニチャーとして活動開始。2006年に滋賀県大津市に自宅と工房、2011年にショールームをセルフビルドで完成させる。パイン材や県産材を使用したオーダー家具・キッチン等を製作されている。

※滋賀県建築士会HP <http://www.kentikushikai.jp/> 【参加申込】からもお申込み頂けます。

女性委員会 Doシリーズ No.79 『蘆花浅水荘でワークショップ』～ミニツールの座面を編む～ 参加申込用紙

氏 名	フリガナ		勤務先名称	フリガナ	
連絡先	メールアドレス			● 会 員 ● 非会員	
	FAX番号	携帯電話			
CPD番号			地 区 名		

※取得した個人情報に関しましては、今回の事業以外に使用いたしません。

お申し込みはFAXにて… 公益社団法人 滋賀県建築士会 事務局 **〈FAX.077-523-1602〉**（お問い合わせは… TEL.077-522-1615）

会員のみなさまの自慢の作品をお待ちしております。

作品のテーマ 「光」・「フリー」（風景・建物などテーマは問いません）

応募資格 会員による自作作品とします。

応募作品 4つ切（カラー・モノクロ）、ワイドタイプ可、応募点数は問いませんが、作品は未発表のものに限ります。

賞 金 大賞作品、入選作品には賞金を予定しています。

募集期間 平成30年12月～平成31年1月21日

審 査 第10回「未来の家、未来のまち」子ども立体作品展会場にご来場の方々の投票による審査とします。

発 表 平成31年5月 機関誌「家」及び滋賀県建築士会ホームページにて発表
(<http://www.kentikushikai.jp/>)

応募方法 下記応募票に必要事項をご記入いただき、作品の裏面に糊付けの上、
(公社) 滋賀県建築士会事務局までご持参いただくか、郵送にてお送りください。

送 り 先 〒520-0801 大津市におの浜1-1-18 建設会館3階
(公社) 滋賀県建築士会「フォトコン係」 TEL. 077-522-1615

応募細則 1. 入選作品の著作権は、主催者に帰属します。選外作品であっても使用することがあります。

肖像権などについては、応募者の責任に於いて了解が
得られているものとします。

2. 応募作品は返却いたしません。ただし、返却希望者は
郵便切手（500円分）を同封頂ければ返却いたします。

主 催 団 体 公益社団法人滋賀県建築士会



公益社団法人滋賀県建築士会2019年フォトコンテスト応募票

作 品 名		テ ー マ	
コ メ ン ト			
応募者氏名		撮 影 場 所	
会 員 氏 名		撮 影 年	
住 所	〒	連絡先TEL	

※取得した個人情報は、フォトコンテスト事業以外に使用いたしません。

平成30年度(第5回)滋賀県 ヘリテージマネージャー育成講座開催報告

本年第5回目の開催となる「滋賀県ヘリテージマネージャー育成講座」(以降HM育成講座)は8月18日に第1回目講座が始まり、12月までに第8回までの講座が終了しました。建設会館での講座(第1回、2回、3回、6回、7回)と五個荘金堂地区での現地研修(第4回)、愛荘町中村家をお借りしての歴史的建造物調査演習(第5回、8回)と順調に進んできました。第8回講座までに2名の補講生が終了され、本年度受講生の残る9回の講座と、来る第10回講座「私が見つけた歴史的建造物の保存活用計画」調査研究発表会(公開講座)の終了により、いよいよ滋賀県ヘリテージマネージャー認定者も100名を超えることとなります。

平成26年度より5ヶ年のHM育成講座を開催いたしましたが、本年度で育成講座は一区切りとし、次年度からはHM修了者の支援と、HM修了者の実務研鑽を目的とした上級講座を中心に実施する予定です。(本年度までの補講生のための講座は実施いたします)

本年度受講者の成果発表となる第10回講座「私が見つけた歴史的建造物の保存活用計画」(公開講座)にぜひお越しください。



第3回講座
(大野講師、菅原講師)



第4回講座
(五個荘金堂地区での現地研修)



第5回講座
(愛荘町での現地演習)



第6回講座
(大野講師)



第7回講座
(井上講師、川端講師)



第8回講座
(歴史的建造物での現地調査演習)

滋賀県ヘリテージマネージャー育成講座 公開講座・特別講演会参加者募集

第1部 公開講座「私が見つけた歴史的建造物の保存活用計画」発表会

平成30年度HM受講生による滋賀県内の歴史的建造物の調査研究発表

第2部 特別講演「文化財保護法改正と文化財を活かした町づくり」

講師 文化庁 地域文化創生本部事務局

広域文化観光・まちづくりグループ文化財調査官 岡本公秀氏

日 時：平成31年1月26日(土) 午前9時開場・開会(受付8:30~)

第1部 公開講座 午前9時より 4グループによる研究発表(各1時間)

第2部 特別講演 午後2時30分~午後4時

参加費：無 料

申し込み方法：(公社)滋賀県建築士会事務局までお申し込みください

FAX 077-523-1602 メール shiga-sa@mx.bw.dream.jp

開催日前日までにお申し込みください

主催 滋賀県ヘリテージマネージャー実行委員会

協力 滋賀県建築士会ヘリテージマネージャー支援委員会

第10回「未来の家」「未来のまち」 子ども立体作品展開催のお知らせ

県内幼稚園の方々、各関係者の皆様にご協力いただき、ご好評いただいている「未来の家」「未来のまち」子ども立体作品展は第10回を開催させて頂くこととなり、同時に第12回「建築士フェスティバル」も開催致します。滋賀県民の皆様、(公社)滋賀県建築士会の存在をアピールすると共に建築士の役割を知って頂きたいと思ひます。

開催日時：平成31年2月2日(土)~3日(日) 午前10:00から午後5:00まで

開催場所：ビバンティ彦根(ビバンティホール)

全国大会さいたま大会に青年委員会から5名で参加いたしました。大会前日の25(木)は、第9回全国建築士フォーラムに参加し、これからの建築士会のビジョンを250名を超える全国の建築士とともにディスカッションしました。講師の中村泰彦氏のテンポのいい進行に後押しされ、6名程度のグループでは活発な意見があちらこちらで飛び出しました。建築士会（建築士）は10年後どうなっていたいのか、どうなれば成功と言えるのかなどの小テーマごとに、スマートフォンのアプリを利用しリアルタイムにスクリーンに映し出すことで、会場の生の声を感じることができました。終始笑いのたえないメガワークショップとなり、その後の懇親会につながる時間となりました。

26日(金)は、交流セッションの青年委員会「地域実践活動発表会」へ。全国7ブロックの代表による活動報告を聞き、近畿ブロック代表の奈良県の発表は、残念ながら最優秀には選ばれませんでした。われわれ滋賀にとっては参考になる事業や今後のヒントを見つける発表会となりました。

大会期間の3日間、今年もまた内容の濃い全国大会になりました。また、建築士フォーラムと青年委員会セッションを企画運営された川嶋連合青年委員長は、この全国大会で立派に委員長デビューを飾られましたことをここに報告いたします。

青年委員会 中村民雄



川嶋連合青年委員長のあいさつ



全国青年フォーラム講師の中村氏

次世代育成事業 紙の力 ～君も未来の建築士～事業報告

若手建築士不足という深刻な問題がある建築業界に少しでも歯止めが掛かるよう、次世代育成事業として小学生に建築士の素晴らしさ、楽しさを伝え、将来建築士を目指してもらいたいという願いを込めて11月9日は長浜市立南郷里小学校、11月14日は彦根市立城東小学校の両校にご協力頂き体験学習を開催することができました。

小学6年生を対象として、初めはパワーポイントを用いて『建築士ってどんな人』をプレゼンしました。建築士からの問い掛けに積極的に答えてくれる児童もいて終始楽しい雰囲気の中、建築士の魅力、楽しさ、社会に対する責任を伝えることができました。

続いて行なった体験実験は、グループに分かれて工作用紙で柱、壁を作り、児童のアイディアで配置していきます。そうして出来上がった作品の上に透明なアクリル板を乗せ、児童1人1人順番に乗っていき、何人乗ると破壊するかという実験です。どうしたらたくさん乗れるのだろう？と考え込む児童の姿はさながら建築士のようにでした。

最もたくさん乗れた作品には構造賞をお渡ししました。最高記録は8名でこれには児童だけに限らず、私たち建築士も驚きました。そして見た目に美しい作品にはデザイン賞をお送りし、体験してくれた児童全員に「こども一級建築士認定証」を授与しました。

城東小学校では、授業の初めに聞いた建築士になりたい人という問いかけには2名の児童しか手が挙がりませんでしたが、終了時に聞いた時には8名に増えたことは、至少かも知れませんが建築士の魅力が伝わったのだと思います。

建築士が先生となって児童と一緒に体験し建築の楽しさを伝えた本事業、私たち建築士も改めて次世代に向けて建築を伝えるということの大切さと責任を感じました。今回体験してくれた児童と、将来一緒に建物をつくり、建築ができる日が来ることを楽しみにしています。

青年委員会・一居博樹



児童と一緒に作品を作る建築士



体験実験



構造賞の作品



児童へのプレゼン

今年は台風の影響は無く、秋晴れの10月20日に総入場者数3,000名余りをお迎えし、予定通りに開催されました。

建築士会は今年も構成団体として参画出展致しました。

当建築士会のブースには常に多くの来場者であふれ多くの子ども達が集まって、木工パズルやベニヤドーム、ヨーヨー吊りなどを楽しんでいただき、建築相談会も開催しました。お手伝いいただいた26名もの会員皆さんのおかげで、当建築士会をアピールすることができました。早朝からのご協力をありがとうございました。



11月17日(土)、第37回近畿建築祭「滋賀大会」が、歴史(とき)山(やま)湖(うみ)

°・*:・。日本の仏教の母なる山 比叡山延暦寺を巡る。・:*・:をテーマに比叡山延暦寺において、滋賀県の参加者101名をはじめ総勢310名が参加し、盛大に開催されました。記念式典では仰木太鼓の演奏をオープニングに主催者代表岡本会長 挨拶の後、滋賀県知事、日本建築士会連合会会長よりご祝辞を賜り、次回開催県に大会旗が引継がれました。続いての基調講演では、滋賀県文化財課の菅原様に「世界遺産・国宝延暦寺根本中堂の魅力と平成の大修理」というテーマで講演して頂きました。午後からは、紅葉真っ盛りの穏やかな秋晴れのもと、各種エクスカッションが執り行われ、世界遺産と直にふれあい、山と湖が織りなす絶景を堪能していただくことが出来、参加者の方々に喜んで頂き、満足度の高い大会となりました。



大会旗の引き継ぎ



根本中堂改修現場見学のレクチャー

滋賀職能大からのお知らせ



コースNo.	コース名	定員	実施予定日※
CH011	木造住宅の基本計画技術 New	10	6/5(水)、6/12(水)
CH021	住宅基礎の構造設計実践技術 New	10	5/11(土)、5/18(土)
CH031	在来木造住宅設計実践技術<意匠設計編> New	10	8/31(土)、9/7(土)
CH041	木造住宅における結露防止を考慮した断熱・気密設計法	10	7/23(火)、7/24(水)
CH051	実践建築設計2次元CAD技術<フリーウェア編>(使用ソフト=JW_CAD)	10	9/4(水)、9/11(水)
CH061	実践建築設計2次元CAD技術(使用ソフト=AutoCAD)	10	6/18(火)、6/19(水)
CH071	実践建築設計3次元CAD技術<住宅間取活用プレゼン編> New	10	6/29(土)、7/6(土)
CH081	実践建築設計3次元CAD技術<BIM活用モデリング編>	10	7/23(火)、7/24(水)
CH091	ネットワーク工程管理実践技術	10	5/21(火)、5/22(水)

※現在最終調整中ですので、日程が変更される場合があります。※各講座ともCPD認定プログラム申請予定コースです。詳細は、次号でお知らせします。

「オーダーセミナー」のご相談を承ります。

職場やグループ単位での独自研修会「オーダーセミナー」の企画立案のお手伝いをいたします。下記「学務援助課」までお問い合わせください。

「卒業制作発表会」開催のお知らせ 平成31年2月15日(金) 9:30～

本校学生が2年間学んだ「ものづくりへの挑戦と楽しさ」の集大成である総合制作実習の成果を発表します。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
 〈厚生労働省所管〉近畿職業能力開発大学校附属
滋賀職業能力開発短期大学校(滋賀職能大)
www3.jeed.or.jp/shiga/college/

〒523-8510 滋賀県近江八幡市古川町1414

学務援助課 TEL: 0748-31-2254
 FAX: 0748-31-2255

〒523-8510 滋賀県近江八幡市古川町1414

学務援助課 TEL:0748-31-2254
FAX:0748-31-2255

地区別 会員数 平成30年 12月1日現在	支部	大津	湖南	甲賀	湖東	彦根	湖北	高島	湖西滋賀	計	賛助会員入会者名 社 名 一級建築士 奥 文宏
	11月	205	150	81	112	88	132	65	25	858	
	12月	203	149	81	111	88	132	65	25	854	
	差引	▲ 2	▲ 1	0	▲ 1	0	0	0	0	▲ 4	

1 月の暦

1	火	赤口	元日	12	土	赤口	ヘリテージマネージャー 育成講座 第9回 近建青「和歌山会議」	23	水	大安	空き家管理等支援委員会 渉外事業委員会 湖東地域会「新年会」		
2	水	先勝											
3	木	友引											
4	金	先負	仕事始め	13	日	先勝		24	木	赤口	四役・委員長会議		
5	土	仏滅											
6	日	赤口											
7	月	先勝		14	月	友引	成人の日	25	金	先勝	甲賀地域会「新年会」		
8	火	友引											
9	水	先負											
10	木	仏滅		15	火	先負	女性委員会	26	土	友引	ヘリテージマネージャー 育成講座 平成30年「二級・木造建築士免許交付式」 彦根地域会「新年会」 高島地域会「新年会」		
11	金	大安	建築関係五団体 「合同年賀会」 情報広報委員会		16	水						仏滅	
					17	木						大安	
				18	金	赤口							
				19	土	先勝	青年委員会						
				20	日	友引							
21	月	先負		27	日	先負							
								28	月	仏滅			
								29	火	大安			
30	水	赤口		30	水	赤口							
								31	木	先勝			

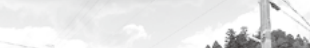
滋賀の酒蔵・伝統と文化を訪ねて 第31回 望月酒造(甲賀市甲賀町)

滋賀の酒蔵・伝統と文化を訪ねて 第31回 望月酒造(甲賀市甲賀町)

写真は南側からみた酒蔵の全景店舗である。道路角地に立地しているが都市計画により拡幅された際、道路より敷地が低くなってしまった。手前中央の新しい建物が米置き場（旧精米場）、右側の白の2階建物が製品庫、これらの奥に見える木造建物が母屋兼店舗である。母屋は酒蔵の建物らしい太い酒蔵格子が印象的で、内部も重厚な柱と梁が落ち着いた佇まいをかもしている。その奥の煙突も印象的である。敷地内には多くの古い木造建物が残されており、今後の修復が課題だそうだが、伝統ある酒蔵として今後の計画が楽しみである。

代表銘柄「寿々兜」「甲賀の里」

(前谷吉伸)



(前谷吉伸)

